

貯法：室温保存
有効期間：5年

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	16100AMZ03605000
販売開始	1986年11月

漢方製剤

じゅうぜんたいほうとう

三和 十全大補湯エキス細粒

商品番号
J-48

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	三和十全大補湯エキス細粒			
有効成分 含量：本剤 9g中	日局 ニンジン	3.0g	日局 ジオウ	3.0g
	日局 オウギ	3.0g	日局 センキュウ	3.0g
	日局 ビャクジュツ	3.0g	日局 シャクヤク	3.0g
	日局 トウキ	3.0g	日局 ケイヒ	3.0g
	日局 ブクリョウ	3.0g	日局 カンゾウ	1.5g
	上記の混合生薬より抽出した日局十全大補湯エキス 6.1gを含有する。			
添加剤	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、 部分アルファー化デンプン、軽質無水ケイ酸			

3.2 製剤の性状

剤形	細粒剤
色調	褐色
におい	特異な芳香
味	甘く、やや苦い
識別コード	J-48

4. 効能又は効果

貧血して皮膚および可視粘膜が蒼白で、栄養不良、痩せていて
食欲がなく衰弱しているものの次の諸症
衰弱（産後、手術後、大病後）などの貧血症、低血圧症、白血病、
痔瘻、カリエス、消耗性疾患による衰弱、出血、脱肛

6. 用法及び用量

通常、成人1日9gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与
する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

8. 重要な基本的注意

- 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮
して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見
の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血
圧値等に十分留意すること。[10.2、11.1.1、11.1.2参照]
- 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意す
ること。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 著しく胃腸の虚弱な患者

食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等があらわれることが
ある。

9.1.2 食欲不振、悪心、嘔吐のある患者

これらの症状が悪化するおそれがある。

9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性
が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又
は中止を検討すること。

9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

10. 相互作用

10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
カンゾウ含有製剤 芍薬甘草湯 補中益気湯 抑肝散 等 グリチルリチン酸及びその 塩類を含有する製剤 グリチルリチン酸一アン モニウム・グリシン・L- システイン グリチルリチン酸一アン モニウム・グリシン・DL- メチオニン配合錠 等 [8.2、11.1.1、11.1.2参照]	偽アルドステロン症 があらわれやすくな る。また、低カリウム 血症の結果として、 ミオパチーがあらわ れやすくなる。	グリチルリチ ン酸は尿細管 でのカリウム 排泄促進作用 があるため、血 清カリウム値 の低下が促進 されることが 考えられる。

11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、
異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を
行うこと。

11.1 重大な副作用

11.1.1 偽アルドステロン症（頻度不明）

低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、
体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるの
で、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が
認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切
な処置を行うこと。[8.2、10.2参照]

11.1.2 ミオパチー（頻度不明）

低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあ
るので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常
が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適
切な処置を行うこと。[8.2、10.2参照]

11.1.3 肝機能障害、黄疸（いずれも頻度不明）

AST、ALT、Al-P、 γ -GTP等の著しい上昇を伴う肝機能障害、
黄疸があらわれることがある。

11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発疹、発赤、痒痒、蕁麻疹等
消化器	食欲不振、胃部不快感、悪心、嘔吐、下痢等

15. その他の注意

15.1 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

20. 取扱い上の注意

20.1 本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光

- の当たらない涼しい所に保管すること。
- 20.2 開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。
- 20.3 本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

22. 包装

720 g (3.0 g × 240 包) [分包]

24. 文献請求先及び問い合わせ先

ジェーピーエス製薬株式会社 営業部
〒224-0023 横浜市都筑区東山田 4-42-22
TEL 045-593-2060

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元



三和生薬株式会社
栃木県宇都宮市平出工業団地 6-1

26.2 発売元

ジェーピーエス製薬株式会社
横浜市都筑区東山田 4-42-22